



子ども達にアートの楽しさを届けたい。

令和4年度杉並区文化芸術活動助成金(※1)に採択された「移動美術館」。小さな子どもと一緒にアートを楽しんでほしい、との願いから移動美術館を始めた八重田さんと佐々木さんにお話を伺いました。

—「移動美術館」ではどのような活動をされているのでしょうか。また、「移動美術館」を始めたいきっかけを教えてください。

八重田：「移動美術館」は、杉並区を中心に、小さな子ども連れの親子が、身近な場所で気軽にアート作品を楽しめるよう、美術鑑賞と創作を組み合わせたワークショップを提供しています。移動美術館の特徴は、複製ではなく実物を展示していることにあり、本格的なアートを鑑賞することができます。また、創作を組み合わせていることも重要なポイントになります。鑑賞のみでは、子どもの満足度が低いことが予想されるため、創作を組み合わせることで、参加型体験学習を促し、子どもが飽きることなく楽しく学べるような内容にしたいと考えました。そこで、子どもを対象とした絵画教室での指導経験が豊富な佐々木を副代表として招き、上述のような内容が実現しました。

「移動美術館」を始めるきっかけは、私の実体験にあります。学生の頃、ロンドンへ留学していたのですが、現地の美術館では子どもの姿をよく見かけました。館内には、子どもが触れて学べる様々な仕組みが設けられていました。一方、日本の美術館では、厳格な鑑賞マナーが求められることが一般的で、子どもを連れて美術館へ行くには高いハードルがあるように思います。実際に、未就学児の娘を連れて美術館へ行った時、子どもに注意してばかりで親も子どもも十分に楽しめなかった経験があります。そこで親子を対象に、身近な場所で美術を楽しむ場が提供できないかと考えて始めたのが移動美術館です。

— 杉並区文化芸術活動助成金に採択されてどのように活用したか教えてください。

八重田：助成金採択前は、展示作品の数は1・2点で、知人を介して個人の所有者から作品をお借りしていました。採択後は、作品の数を増やすことができ、また、美術館と取引のある古美術商からも作品をお借りすることができ、作品の数・質ともに充実させることができました。また、創作についても、採択後は固形墨や硯等、様々な画材の購入費に充てることができましたため、創作活動の幅が広がりました。

— 具体的にどのようなプロセスを経て各回のテーマや鑑賞から創作への展開を決めていくのでしょうか？

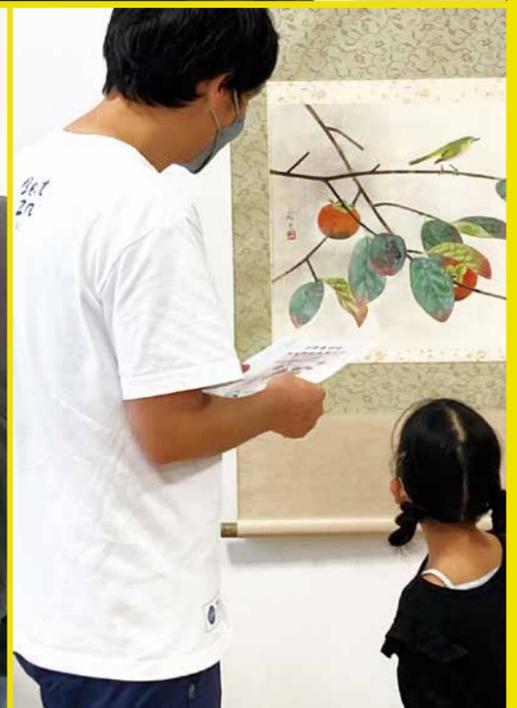
佐々木：各回のテーマは、開催時期に合わせて、春や秋等の季節をテーマとすることが多いです。鑑賞から創作への展開については、例えば栗の絵に合わせて栗の創作をする等、展示作品に描かれている内容に合わせて、創作を考える場合や、墨等の画材に着目して発展させる場合等、様々です。

— どんどころに達成感や満足感があるのでしょうか？

佐々木：移動美術館では、対話型美術鑑賞(※2)を導入しており、展示作品の中からどの作品が好きか、どのような点が気に入ったかを子ども達に発表してもらっています。子ども達は大人が思っている以上に、何かを掴み取ろうと作品を覗いていることに驚きます。また、創作についても材料の数や種類に制約がある中、子ども達は、与えられたものから工夫し様々な表現を見せてくれます。こうした子ども達の豊かな感性に触れることができ、主催者側としても毎回楽しませてもらっています。

— 今後の「移動美術館」の活動予定や「移動美術館」に託す夢などがあれば教えてください。

八重田：現在は杉並区の高井戸・阿佐ヶ谷地域を中心に活動を行っていますが、今後は活動エリアを広げていきたいと考えています。移動美術館の活動を通して、多くの子ども達がアートの楽しさを知るきっかけになれば嬉しいです。



Interview

移動美術館代表

八重田季江さん

滋賀県生まれ。関西大学大学院、日本美術史修士課程修了。2010年、第19回鹿島美術財団賞受賞。2021年に任意団体「移動美術館」を立ち上げ、杉並区を中心に美術鑑賞と創作を組み合わせたワークショップを企画・運営。アートをわかりやすく解説する執筆活動も行っている。二児の母。



移動美術館副代表

佐々木環美さん

静岡県生まれ。武蔵野美術大学日本画学科卒業。中学・高等学校美術教諭免許取得。大学在学中から様々なアート活動を行う。岩絵の具や、水彩絵の具を使用し、絵画制作をしている。杉並区を拠点に制作活動を続けており、都内の絵画教室でも子ども達にアートの魅力を伝えている。移動美術館では主に創作を担当。



※1 杉並区文化芸術活動助成金

区民や区内に拠点を持つ団体が区内で行う多様で創造的な文化・芸術活動を支援するため、事業に係る経費の一部を助成。

▶ 令和5年度の募集については4面をご確認ください。

※2 対話型美術鑑賞

VTS(Visual Thinking Strategies)：1980年代半ばにアメリカのニューヨーク近代美術館(MoMA)で開発されたアート鑑賞法。「観察力」「創造力」「思考力」「コミュニケーション力」を高める効果が期待されている。

出演者や内容が、予告なく急ぎよ変更となる可能性があります。公演に関する最新情報についてはそれぞれの主催者にお問合せ

座・高円寺
2023年度
プログラム説明会
開催!

申込受付中

座・高円寺で上演する主催、提携公演のプログラム説明会です。どんな人が、どんな思いで、舞台作品を創っているのか。劇場に来たことがある人もない人も、演劇を見たことがある人もない人も、是非一度、参加してみてください。劇場がぐっと身近になるはず。今年はトークと映像でお届けします。入場料は無料です。

座・高円寺2023年度
プログラム説明会
3/28(水) 19:00
無料(要予約・定員有)
予約はこちら



ゴールデンウィーク
GWはイベント盛りだくさん!!

第15回高円寺びっくり大道芸2023
今年のテーマは「前進!!」
4/30(日) 12:00～18:00
場 座・高円寺前、高円寺商店街内特設会場、JR高円寺駅北口広場、高南通り ほか
主 高円寺びっくり大道芸実行委員会
問 ☎3314-4147(事務局/氷川神社内)

みんなのリトル高円寺2023
かつマあった町
～いせきの中を探検せよ!～
5/2(水)～7(日) 11:00～16:00
※5/2はプレオープン。
開催時間は15:00～17:00

町の中を足長パフォーマンスや音楽隊が練り歩き、神社や町の広場でパフォーマンスが行われる「第15回高円寺びっくり大道芸」。今年は4月30日(日)に開催します! 町中が劇場に変身する高円寺の春のお祭りをぜひお楽しみに。
座・高円寺ではゴールデンウィーク中、いつもの劇場が遊びの広場に大変身! 子ども達の想像力で変化する仮想的町「みんなのリトル高円寺」が今年も登場! 今年のテーマは「古代遺跡」。発見されたばかりの遺跡の中にはどんな夢が眠っているのでしょうか。ご家族やお友だちとぜひ遊びに来て下さい!



松本淳一郎 ©松本淳一郎
大谷清孝 ©大谷清孝
西澤譲 ©西澤譲
梁丞佑 ©梁丞佑

2面共通・チケット取扱▶座

公演情報

『座・高円寺ダンスアワードII』

4/2(日) 16:00 **発売中**

毎年恒例、大学生に向けた国立台北芸術大学とのダンス共同プロジェクト。今年は台湾でのダンスキャンプも実現し、日本と台湾の若者たちの6つの作品を上演します。

演 **アーティスティック・ディレクター** 竹屋啓子 (ダンス01)
アソシエイト・アーティスト 田村一行(大駱駝艦)
全席自由・税込/1,000円、中学生以下無料(要予約)



『高円寺ダンスアワードII』(2022年 ©梁丞佑)

B機関『毛皮のマリー』

4/14(金)～17(日) **発売中**

舞踏家点滅が結成した演劇身体表現ユニット。旗揚げ公演で上演した寺山修司の代表作を再演します。

演 寺山修司 点滅
岡 葛たか喜代、吉原シュート、海津義孝、由地慶伍、蝶羽、中川朝子、中村天誅、由佳、点滅 ほか
全席指定・税込/5,000円、20歳以下/4,500円



『星の王子さま』(2019年)

扉座『Kappa～中島敦の「わが西遊記」より～』(仮題)

5/17(水)～28(日) **4/9日発売**

昭和の文豪、中島敦の未完の小説「わが西遊記」の「悟浄出世」と「悟浄 歎異」の二編を元に書き上げた、沙悟浄目線の新しい西遊記を上演!

演 横内謙介 岡 岡森諒、有馬自由、伴美奈子、犬飼淳治、菊池均也(客演) ほか
全席指定・税込/5,000円、学生/3,000円(扉座でのみ取扱・当日学生証持参)、ミナクルステージ(5/17(水)19:00の回)/3,500円(前売・当日共)



『神遊ところがよいー馬琴と嵐山ー』(2022年 ©宮内勝)

ティーファクトリー
T Crossroad<花鳥風月>
そして春『カミの森』
+<花鳥風月>短編戯曲セレクション

5/31(水)～6/11(日) **4/22日発売**

昨年、四季折々に開催した短編戯曲祭T Crossroad<花鳥風月>から生まれた、川村毅待望の新作『カミの森』と、参加した気鋭の劇作家たちによる短編戯曲を上演。
演 『カミの森』: 川村毅
今井朋彦/加藤虎ノ介/大沼百合子、阿岐之将一、高木珠里/中田春介、堺小春、福寿奈央/田中壮太郎

『<花鳥風月>セレクション』: 5作品

全席指定・税込/5,000円 ほか

なみちけ 託児



『カミの森 (スタートラフリーディング)』(2022年 ©宮内勝)

世田谷シルク『工場』
『夜景には写らない』

6/14(水)～18(日) **4/29日発売**

おもわずすりとしてしまう、日常に突然介入する不思議な状況。身体を使ったサイレント演劇。今回は海外でタクシーに乗った時の思いを形にした作品です。

演 田堀川炎
田 石川彰子、大迫健司、大原富如、串尾一輝、佐藤滋、須崎天啓、高野将大、塚越健一、橋詰高志、矢内久美子 ほか
全席自由・税込/5,000円、初日割[14日、15日]/4,500円 ほか



『工場』(2019年 ©大倉英揮)

チーズtheater『ある風景』

6/21(水)～25(日) **5/16日発売**

映画監督としても活躍している戸田彬弘が描く現代日本の家族の物語。コロナ禍で様々な価値観が変化の中、目をそらすことが出来ない一番身近な場所を考えます。

演 戸田彬弘
大浦千佳 ほか
全席自由・税込/4,500円 ほか



『THE VOICE』(2017年 ©伊藤星児)

フリーマガジン『座・高円寺』にあなたの原稿を掲載しませんか?

高円寺を舞台にした、人との思い出を募集します。「この人がいるから……」とか「こんな人に会えるから……」とか、心にしまっていた暮らしの中のエピソードや、驚きのエピソードなどを教えてください。文字の書けるお子さんから大人まで、文字数は問いません。

ご応募はこちら



チケット発売情報

詳細は劇場チケットボックスかWEBサイトで確認ください

ゼロコ『Silent Scenes』	7/7(金)～8(土)	4/8日発売
座・高円寺レパートリー『世界をみよう!』	7/15(土)～30(日)	6/3日発売
あやめ十八番『六英花 朽葉』	8/5(土)～9(水)	6/4日発売
劇団かもめんたる『S.ストーリーズVol.2』	8/12(土)～20(日)	6/10日発売

ご来館の皆さまにお願い

劇場では現在、新型コロナウイルス感染防止対策を実施中です。体調(発熱、咳)に不安を感じる方、2週間以内に感染者との接触が確認されている方はご来館をお控えください。詳細はこちらをご覧ください。



なみちけ 『なみちけ』利用できます

お得で便利な座・高円寺発行ステージ引換回数券です。座・高円寺で購入・利用することができます。演目、公演時間、託児などは座・高円寺チケットボックス☎3223-7300へ。※電話・窓口ともに月曜日定休

イベント情報 & 区からのお知らせ

スギナミ・ウェブ・ミュージアムで開催中!

しんぞうけいご
真造圭伍

『ひらやすみ』原画展

—四季と日常—

1月23日から2月4日にかけて、杉並区役所2階区民ギャラリーにて開催された「真造圭伍『ひらやすみ』原画展 - 四季と日常 -」は、作者の手描き原画55点を展示しました。「初」の原画展を記念し、スギナミ・ウェブ・ミュージアムでもデジタル版『ひらやすみ』原画展 - 四季と日常 - を開催することとなりました。普段目にすることのできない貴重な原画をぜひ、あなただけのモニターで楽しんでください。

漫画『ひらやすみ』は「ビッグコミックスピリッツ」で連載中。「マンガ大賞2022」第3位受賞、阿佐ヶ谷姉妹、是枝裕和監督も心を癒やされ、話題沸騰中の平屋暮らしモラトリウム漫画。阿佐ヶ谷・高円寺など杉並区を舞台に、心温まる日常が描かれています。



▲デジタル版『ひらやすみ』原画展

区民ギャラリーで実施した展示風景



杉並芸術会館(座・高円寺) 芸術監督 を公募します!

区では、座・高円寺で実施される芸術・文化事業を効果的に実施するため、区の専門非常勤職員として芸術監督を配置しています。現在の芸術監督が令和5年6月30日をもって任期満了を迎えることに伴い、次期の芸術監督については、公募により選任することとしました。公募の詳細については、4月中旬頃を目途に、区ホームページや広報すぎなみ等にてお知らせします。



令和5年度
文化芸術活動助成金
を募集します!

- 助成金額 1事業当たり上限40万円(補助率2/3) 承認予定件数 25件程度
- 事業実施対象期間 令和5年4月1日①~令和6年3月31日② 受付期間 令和5年4月3日③~5月31日④必着
- 提出方法 郵送または窓口持参 問合せ先 文化・交流課助成金担当 ☎5307-0734(直通)

募集要項、必要書類等の詳細は4月1日に公表される区ホームページを必ずご確認ください。

日本フィル公開リハーサル

4/21⑤ 13:00(開場12:00)

区と友好提携を結ぶ日本フィルハーモニー交響楽団による、普段なかなか見ることのできない指揮者とオーケストラの音楽づくりを、間近で体験できるイベントです。

場 杉並公会堂大ホール 料 無料 対 小学生以上の方 定 560名(先着順)

日 4月7日(金)~17日(月)東京共同電子申請・届出サービス(2次元コード)からお申し込みください。



※車いす席をご希望の方は、電話でお申し込みください。
問 文化・交流課 ☎3312-2111(代)

区役所ロビーコンサート

細田工務店は、音楽を楽しむひとときを応援します。

5/29⑥ 12:10~12:50

お昼のひととき、区役所のロビーを会場に、区と友好提携を結んでいる日本フィルの楽員が素敵な音楽をお届けします。

場 日本フィルハーモニー交響楽団 場 区役所1階ロビー 料 無料 問 文化・交流課 ☎3312-2111(代)

山梨県忍野村富士山写真展

6/5⑦~9⑧ 8:30~17:00
※初日は12:00から、最終日は15:00まで

山梨県忍野村で開催している「富士忍野グランプリフォトコンテスト」の入賞作品展です。

忍野村は美しく荘厳な富士山をはじめ、湖沼や河川などの自然の造形と、田畑や茅葺屋根などの人間の営みが調和した美しい風景の村です。四季折々の富士山の魅力をご覧ください。

場 区役所2階区民ギャラリー 料 無料
問 忍野村観光産業課 ☎0555-84-7794



日本フィルの活動を紹介します 東北の夢プロジェクトin福島を開催



郡山合唱塾と日本フィル ©菅野マコト

日本フィルは東日本大震災直後より、〈被災地に音楽を〉の活動を続け、訪問回数は2023年1月現在、325回となりました。去る1月8日、初めて福島県郡山市で〈東北の夢プロジェクトin福島〉を開催しました。〈東北の夢プロジェクト〉は、東北の子どもの夢と未来、笑顔を応援し、地域内外の交流と文化発信の場づくりを目的としています。今回は日本フィルに加え、ゲスト団体として吹奏楽が盛んな相馬地域を代表する南相馬市立原町第一中学校吹奏楽部、今回のために特別に編成された、郡山合唱塾メンバーによる合唱団が出演し、熱演を披露しました。公演の最後には合唱団と日本フィルがコラボレーションし、東日本大震災の際に南相馬市で生まれた合唱曲《群青》を演奏。会場は感動に包まれました。アンケートでも「音楽の素晴らしさを実感した時間だった」、「これからも続けてほしい」といった声がありました。日本フィルは今後も活動を継続し、多くの皆様とともに子どもたちの未来を応援していきます。

気軽に参加して杉並のアートを一緒に盛り上げよう!

アート・ファン・ミーティング を開催します

4/20⑧ 5/18⑧ 7/20⑧ 9/21⑧
19:00~20:00(事前予約制)

場 杉並区役所 料 無料 問 NPO法人TFF ☎5397-3400 ✉art@npo-tff.org
※内容によっては、時間帯や開催場所が変更になる場合があります。
※開催回ごとの内容、予約方法などは「すぎなみ戦略的アートプロジェクト」のウェブサイトをご確認ください。



アート・ファン・ミーティングとは

「すぎなみ戦略的アートプロジェクト」では、アートに興味があるけど何をしたらいいかわからないという方や、現役のアーティスト、ギャラリスト、学生などが世代や所属を超えて集まり交流をはかる場を定期的に開いています。地域のアート活動やワクワクするイベント企画に興味がある方など、お気軽にご参加ください。お仕事帰りの会社員や親子で参加している方もいます。勉強会やミニワークショップを行う回もあります。詳細はウェブサイトをご確認ください。すぎなみ戦略的アートプロジェクト

